

目標達成計画

作成日: 平成28年6月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	・曜日を決めて散歩に出かける、短時間でも外気に触れる機会を作るなど工夫をしているが、個別の希望による外出支援が不十分であると受けとめている。日常生活にごく自然に外出が実施できるような計画性が必要と考えている。	・利用者それぞれの個別ニーズに合わせ、さまざまな地域資源も活用した外出支援で、自然に触れたり社会に触れたりする機会をふやす。	・施設から足を伸ばした買物・外食・その他地域の施設の利用などの外出の機会を作る(可能となる職員体制を作る) ・ご家族やボランティアにも協力していただき、自然や季節の変化に触れられる外出の機会を増やす	12ヶ月
2		・これまで、地域の行事や防災訓練などに意識的に参加してきたが、受身的な関わりでは繋がりを強化することはできないと受け止めている。事業所が事業活動を通じて、地域に貢献できるような関わりを持つためには、事業所から地域に向けて発信していくことが大切だと考えている。	グループホームさざんかが発信元となって(取り組み等を地域に情報提供するなどを通して)、地域の要望をつかみ、繋がりに活かす	・ホーム内の研修や行事のお知らせやかかわら版を通して定期的に地域に情報発信する ・認知症サポーターや成年後見人などの地域に向けた講座を開催する	6ヶ月
3		・いつでもどこでも、地域や水害が発生する可能性があり、災害時の備えの1つとして、ご家族へ連絡方法を周知する、職員体制を具体化しておくことが、後回しになっているので整備する。また、高台に位置しているからと過信せず、水害が発生すれば交通網が遮断される事もイメージしてハザードマップを使って対策を検討しておく必要がある。	災害時の職員・家族への連絡体制の強化、職員体制作りの具体化、水害ハザードマップの活用で災害対策を強化する	・家族へ災害時の連絡方法の周知と確認を取る ・職員への災害時の勤務の確認と具体的な体制作り ・松戸市と流山市の水害ハザードマップの確認と対策方法の検討 ・災害時備蓄品の管理と整備	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。